

堅牢タブレット

LZ-WB10HC シリーズ ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

取り扱い上のご注意	3
注意事項	10
1. 本体と付属品の確認	16
2. 各部の名称	17
3. 充電仕様	20
4. 電源の ON / OFF、再起動	22
5. BIOS 設定画面について	24
6. 出荷時の状態に戻す (リカバリー)	26
7. バッテリー保護機能 (バッテリーケアモード)	30
8. その他の機能・設定	31
9. トラブルシューティング	32

■本書をお読みいただく前に

本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

- 本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管してください。
- 本書の内容の一部又は全部を無断で複製・転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル サポートまでご連絡願います。
- 本書に記載されている機種名やソフトウェアのバージョンは本書作成時の情報です。最新情報については、弊社テクニカルサポートへお問い合わせください。
- 本書に記載の内容は、改良などのために予告なく変更する場合があります。
- 本書に基づいて運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で指定された設定以外にした場合、動作保証外となる場合があります。
- 本書及びリカバリーディスクは、日本語表示を基本にしています。
Sorry. A RecoveryDisc and this reference manual are available in Japanese only.

■取扱い上のご注意

●本製品を正しく安全に使用するために

本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

●表示について

この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

◀この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある項目です。



警告

◀この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

◀この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



◀三角のマークは、何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



◀丸に斜線のマークは、何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



◀塗りつぶしの丸のマークは、何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源ケーブルをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

危険



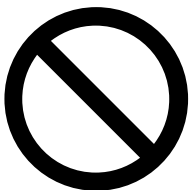
●バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。発熱・発火・破裂・爆発の原因となります。



●バッテリーに対してくぎなど尖ったもので刺さないでください。また、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。液漏れ・発熱・発火・破裂・感電の原因となります。



●バッテリーを火のそばや炎天下など、対応温度・環境以外で高温の場所での充電・使用・放置をしないでください。液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となります。

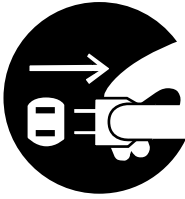


●指定外のバッテリーパックを使用しないでください。製品指定外のバッテリーパックを使用しますと液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となります。

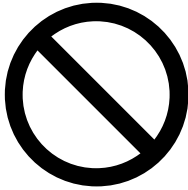


●バッテリーのプラス (+) とマイナス (-) を金属などで接触させないでください。濡らしたり、ネックレス・ヘアピンなどの金属といっしょに持ち運んだり保管するとバッテリーの端子が接触し、感電・液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となります。

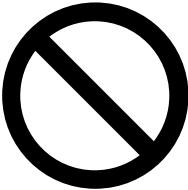
警告



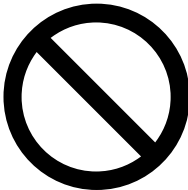
●本製品から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社テクニカルサポートにご相談ください。



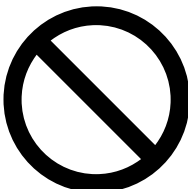
●本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水や油などの液体が入らないように注意してください。故障・感電・火災の原因となります。
※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り弊社テクニカルサポートにご相談ください。



●本体の上に重量物を置かないでください。故障の原因となります。



●高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所、ほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって感電・故障・火災の原因となります。



●本製品には正弦波以外で出力される電源（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。火災の原因となります。



●電源ケーブル・AC アダプター・充電器は必ず製品仕様に合わせた正しい電源電圧のコンセントに接続してください。火災・故障の原因となります。

警告



●電源ケーブル・ACアダプター・充電器は破損しないように十分ご注意ください、コネクタはしっかりと差し込んで使用してください。ケーブル部分を持って抜き差しすると、断線や被覆が破れて感電や火災の原因となります。



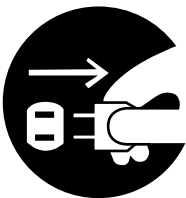
●電源ケーブル・ACアダプター・充電器のケーブルは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねたり、ケーブルの上に物を乗せた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



●電源ケーブル・ACアダプター・充電器は必ず製品添付か弊社指定の物をご使用ください。また、本製品に付属の電源ケーブル・ACアダプター・充電器を他の製品に使用しないでください。火災や故障の原因となる可能性があります。



●電源ケーブル・ACアダプター・充電器はなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災や感電の原因となります。



●本体を長期間使用しない場合は、電源ケーブル・ACアダプター・充電器のプラグをコンセントから抜いておいてください。火災や故障の原因となります。



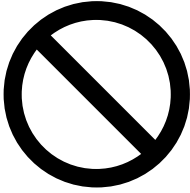
●各コネクタとの接続を間違わないようご注意ください。誤ったコネクタや向きを間違えて無理に差し込みますと破損や故障の原因となります。



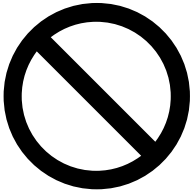
●本製品は静電気に影響を受ける部品が搭載されています。コネクタの接点部分やポートなどに素手で触れないでください。故障や誤動作の原因となります。



警告



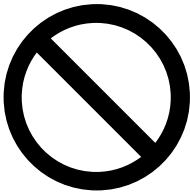
●本製品を引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。火災の原因となります。



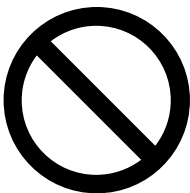
●本製品を油煙や腐食性ガスが発生する環境で使用・保管しないでください。故障の原因となります。



●本製品を高温または低温環境下で使用した後に触れる際には手袋などを使用して触れる様にしてください。けがややけどの原因となります。



●動作温度範囲内であっても、急激な温度変化にさらさないでください。故障の原因となります。



●梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

注意



●本体の強制電源断（電源スイッチの長押し・リセットボタンの使用・電源タップによる電源 OFF 等）は、本体がフリーズして反応がない場合にのみ使用ください。むやみに使用すると動作不良やデータ消失の原因となります。また、この操作で日付・時刻がずれる場合があります。



●本製品を継続してご使用になる場合には、定期的なデータのバックアップを行ってください。



●本体の電源を一度 OFF(切) にした時は 30 秒以上経過してから ON(入) にしてください。誤動作などの原因となります。



●本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形や変色の原因となります。

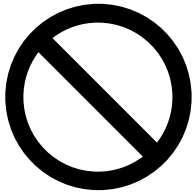


●本製品には、有寿命品が含まれております。液晶パネル・バックライト・タッチパネル・コンデンサ・AC アダプター等の経時による劣化（輝度の変化・色の変化・輝度と色の均一性の変化・焼き付き・欠点の増加・感度低下・機能低下など）生じた場合は、保証期間でも有償修理となります。



●本製品には、バッテリーなど消耗品が含まれています。消耗品は使用環境・使用時間・時間の経過に伴って劣化・消耗し、動作が不安定になる原因となります。本製品を安定してお使い続けていただくためには、一定の期間で消耗品の交換をお客様にておこなってください。

注意



●本製品が振動により落下することだけが原因となりません。本製品を振動の加わる場所、または加わりやすい場所でご使用の際には、十分にご注意ください



●本製品をラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くに強い電磁波を発生する装置がありますと本製品が誤動作する可能性があります。必ず離してご使用ください。



●本製品にはバッテリー（二次電池）が搭載されています。バッテリーは電池の特性により、劣化に伴って膨張する事があります。膨張したバッテリーをそのまま利用すると本体の故障の原因となります。速やかに新しいバッテリーパックに交換するか、お客様にてバッテリー交換ができない機種の場合は弊社テクニカルサポートまでバッテリー交換の依頼を行ってください。なお、バッテリーは消耗品ですので、交換は保証期間内でも有償となります。



●本製品を使用して、サウンドを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害をもたらす原因となります。特にヘッドフォンを使用する場合は、必ず最初にヘッドフォンを耳から離れた状態で音量を確認してください。

■製品を正しく使用するために

- 本製品の仕様、デザイン等は、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
- 本製品を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、弊社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存したデータについては、理由を問わず一切の保証はいたしかねます。誤操作、落雷などの自然災害、経年劣化や不慮の事故等による製品故障に備え、重要なデータはあらかじめバックアップ（データの複製）をお願いします。
- 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- 本製品の仕様は、搭載されたハードウェア・ソフトウェアの機能が全て使用できる事を保証するものではありません。また、本製品に接続した全ての機器の動作を保証するものではありません。
- 本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関して弊社ではいかなる責任も負いかねます。また弊社では海外使用に関するサービス・サポートは一切行っておりません。
- 通風孔や、各コネクタのチリ・ホコリ等は定期的に取り除いてください。
- 本製品の寿命は1日8時間、1週間5日稼働を前提に算出されております。

■お問い合わせ窓口

技術的なお問い合わせ（テクニカルサポート）、修理受付窓口に関しては、製品添付の保証書に記載されています。

■保証と修理について

- 本製品には保証書が添付されています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間は保証書に記載されています。ご購入日より有効です。
- 修理を依頼される場合、修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。故障かどうか判断がつかない場合は、弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。
- 保証期間中の修理につきましては、保証書に記載の規定に従い修理いたします。保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有償修理しています。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品確保等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品出荷後5年間です。（保有期間内でも、互換パーツでの修理や修理に代わって同等品へ交換する場合があります。）

■ 本製品使用上のご注意

- 高温環境で継続的に使用すると製品寿命が短くなります。
- 本製品は経年劣化や設置場所により、色落ち・変色等が発生する可能性があります。製品の使用に影響ありません。
- 本製品の特殊環境性能（耐衝撃落下性能、耐振動性能、防塵防滴性能等）は製品の無破損、無故障を保証するものではありません。
- 本製品は以下の温度条件下でご使用ください。
 - 動作環境温度：（バッテリー駆動時）：-10℃～50℃
（湿度 20%～90% ただし結露しないこと）
 - 動作環境温度：（ACアダプター接続時）：0℃～40℃
（湿度 20%～90% ただし結露しないこと）
 - 保存環境温度：-20℃～60℃
（湿度 20%～90% ただし結露しないこと）
- オプション品の取付や本体の固定でネジを使用する際は、マニュアルに記載のネジ径で、ネジ穴深さを超えない長さのネジを使用してください。ネジ穴深さを超えるネジを使用するとネジが本体内に突き抜け、破損する可能性があります。十分にご注意ください。
- オプション品の取付や本体の固定でネジを使用する際は、マニュアルに記載の推奨トルク値で締め付けてください。締め付トルクが弱い場合は本体の脱落の可能性があります。また、締め付トルクが強すぎる場合は本体を破損する可能性があります。十分にご注意ください。
- 液晶ディスプレイは、膨大な数の薄膜トランジスタで構成されています。画面上で少数のドットの欠落、変色、発光が見られる事もありますが、これは、液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。
- 本製品の液晶ディスプレイには極力直射日光が当たらない様にご注意ください。液晶画面に強い紫外線が長期間照射されると液晶画面に変質が発生する可能性があります。
- 本製品を消毒・清掃するには以下の薬剤を柔らかい布にしみこませ、本体を拭う様にして消毒してください。また、薬剤の使用に関しては、当該薬剤の使用用途・注意事項をご確認のうえ、ご使用ください。
 - ・イソプロピルアルコール（70%）
 - ・エタノール（75%）
 - ・次亜塩素酸水（エレコム製：エクリアゼロ 50ppm）

■ バッテリーに関するご注意

● バッテリーの劣化に関して

バッテリーは消耗品で、充放電を繰り返すことや、保管方法により徐々に劣化し、性能が低下していきます。また、バッテリーの劣化に伴い、バッテリーが膨張することがあります。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、安全上問題はありませんが、内部機器を圧迫し、故障の原因となります。

このため、バッテリー駆動時間が極端に短くなった時や、バッテリーが膨張している場合は、バッテリーの寿命が近づいておりますので、お早めに弊社テクニカルサポートにご相談ください。

以下の様な運用はバッテリーの劣化を加速させることにより、寿命が低下する原因となりますので、ご注意ください。

- ・ 充電しながらの長時間の使用
- ・ ACアダプターからの電源供給を受けている状態での長時間の使用 (電源 ON 状態)
- ・ 高温環境下での充電、継続的な使用
- ・ 満充電状態での長期保管
- ・ バッテリー残量が 0% の状態での長期保管

● バッテリー駆動時間に関して

- ・ バッテリー駆動時間は、動作環境、液晶の輝度、システム設定により変動します。バッテリー駆動時間測環境については、次の Web ページをご覧ください。

<https://pc.logitech.co.jp/qa/qa011.html>

- ・ 低温環境下での使用はバッテリー駆動時間が短くなったり、起動に時間がかかることがありますので、ご注意ください。
- ・ バッテリーが劣化することで、バッテリー駆動時間が短くなります。

● バッテリー充電時間に関して

- ・ バッテリー充電時間は、動作環境、システム設定により変動します。また、完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。
- ・ バッテリーを充電する場合は添付若しくは指定の仕様の AC アダプターをご使用ください。また、安定して充電できるかなど、事前に動作確認することをお勧めします。

● バッテリーが完全放電した場合の対処について

- ・ 長期間バッテリーを放置した場合、本体の待機電源に依る放電やバッテリー自体の自然放電により、完全放電状態になってしまうことがあります。
- ・ 完全放電したバッテリーを再充電する際、AC アダプター / 充電器を接続しても充電ランプが点灯しないことが有ります。その場合、数分間充電を続けた後に AC アダプター / 充電器を抜き差しすると充電ランプが点灯します。

● バッテリーの保管に関して

- ・ 充電している状態のまま保管・放置しないでください。
- ・ 本製品にバッテリーを装着している場合は 2 ヶ月に 1 度、バッテリーパックが着脱可能なモデルの場合、取り外した状態では 6 ヶ月に 1 度の充電を行ってください。(それぞれ、満充電状態の場合)

■ 電波に関する注意事項

本製品で使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただき、混乱回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事態が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

法令により、無線 LAN の 5GHz 帯の 5.3GHz 帯を屋外で使用することは禁止されています。5.2GHz 帯は条件付で屋外使用が可能です。

■ 電波障害自主規制について（VCCI-クラス A）

この装置は、クラス A 機器です。

この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

■ USB 5Gbps(USB3.2 Gen1) 規格以上の USB デバイスを使用時のご注意と対策

本製品に USB 5Gbps (USB3.2 Gen1) 規格以上の USB デバイスを使用した場合、電磁波の干渉により無線 LAN/Bluetooth など 2.4GHz 帯無線を使用するデバイスとの通信に影響が出る場合があります。

【対象デバイス】

- ・ USB 5Gbps (USB3.2 Gen1) 規格以上のポートで接続する USB 5Gbps (USB3.2 Gen1) 転送に対応した同規格の USB 機器すべて
- ・ 無線 LAN(IEEE802.11b/g/n/ax)、および Bluetooth を含む 2.4GHz 無線通信を行う機器全て

【症状：例】

- ・ 通信可能距離が短い／不安定になる
- ・ 通信速度が遅い
- ・ 通信相手を認識しない／接続が切れる

【対策】

- ・ 5GHz の無線 LAN を使用する (無線 LAN)
- ・ 別の USB ポートに接続する (USB 機器)
- ・ USB 機器の位置を変更する (USB 機器)

※ USB 5Gbps(USB3.2 Gen1) デバイスは、USB3.0/USB3.1 Gen1 等と表記されている場合があります。

■ 廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

本製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

- 本製品を廃棄する際、内蔵ストレージに記録されたお客様のデータが再利用され、重要なデータが読みとられ、予期しない用途に使用される恐れがあります。
- 内蔵ストレージに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。
- 本製品に記録されたソフトウェアを消去することなく本製品を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

これらより、内蔵ストレージ上のデータが第三者に流出することがないように廃棄時には全データの消去の対策をお願いいたします。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはデータ消去サービス（共に有償）を利用するか、搭載された記憶装置を物理的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

マニュアル中の表示について

本機を使用するにあたり役に立つ情報の提供や、ハードウェアの破損、故障の可能性の警告のため、次の「メモ」、「重要」、「注意」の3つの記載が本マニュアルでは使用されています。



メモ

役に立つ情報を記載しています。



重要

知っておいていただきたい重要な情報を記載しています。



注意

ハードウェアの破損、故障の可能性があることや、問題を回避する方法を説明しています。

1. 本体と付属品の確認

本体と標準付属品が揃っていることを確認してください。

万一、足りないものがあったり、破損しているものがあった場合は、販売店または弊社サポート窓口までご連絡ください。

本体と標準付属品一覧

● 本体



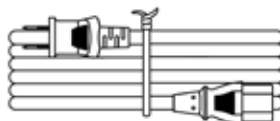
● 標準バッテリー 2 個



● AC アダプター



● 電源ケーブル

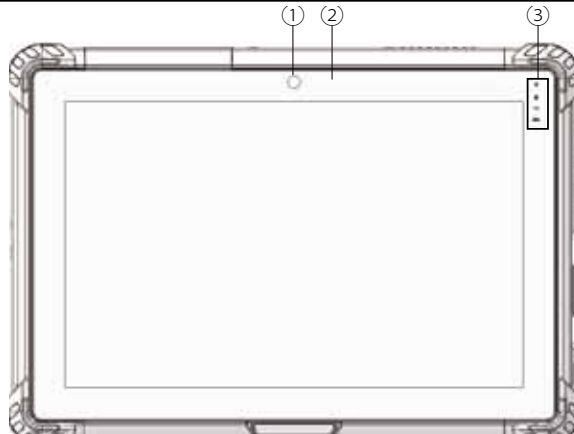


● リカバリーディスク



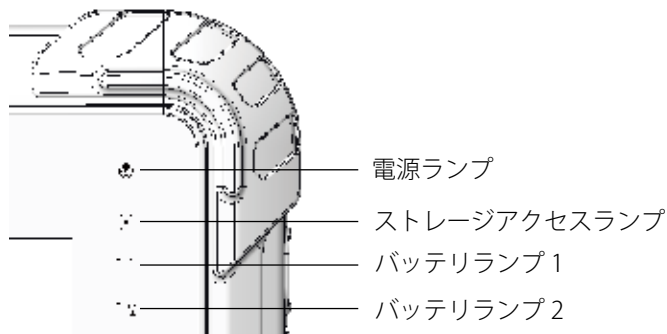
2. 各部の名称

前面



番号	名前	説明
①	フロントカメラ	200万画素のカメラです。
②	照度センサー	周辺の明るさを検知するセンサーです。
③	表示ランプ	本体の状態を示すランプです。それぞれのランプについては、以下の表をご覧ください。

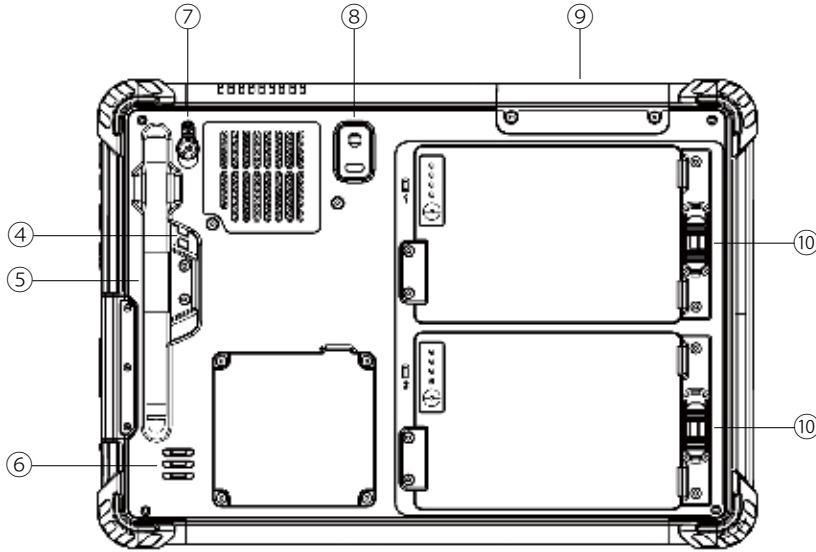
表示ランプ



名前	説明
電源ランプ	緑：電源オン 緑点滅：スリープ 消灯：休止状態、電源オフ
ストレージアクセスランプ	緑点滅：ストレージアクセス
バッテリーランプ 1	消灯：ACアダプター未接続、または、バッテリー未接続 緑点灯：充電完了
バッテリーランプ 2	緑点滅：充電不可状態* 赤点灯：充電中 赤点滅：バッテリー容量 10% 以下

* 仕様温度を超える低温、高温時にはバッテリー保護の為充電機能を制限することがあります。

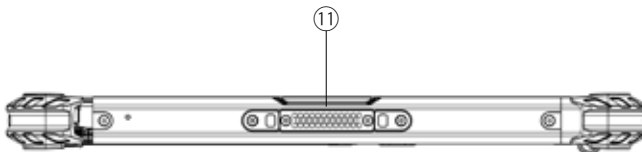
背面



番号	名前	説明
④	ストラップホール	市販のストラップを取り付けることができます。
⑤	ペンホルダー	タッチペン等を収納できます。
⑥	スピーカー	本機の再生音を出力します。(モノラル出力)
⑦	GPS アンテナ入力	外部 GPS アンテナを接続できます。
⑧	リアカメラ	800 万画素のオートフォーカス機能付きカメラです。
⑨	オプション品取り付け位置	オプション品の取り付け位置です。
⑩	バッテリーリリーススライダ	バッテリーを固定するバネ式のスライダです。中央にはスライダを固定するロックラッチがあります。

底面

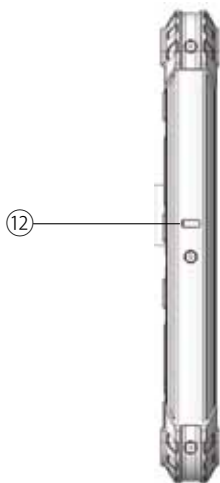
底面



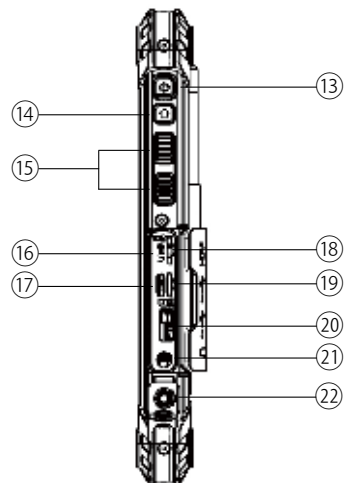
番号	名前	説明
⑪	ドッキングコネクタ	デスクトップクレードルと接続するためのコネクタです。

側面

左側面



右側面



番号	名前	説明
⑫	セキュリティスロット	市販のセキュリティケーブルを使用して、本体を机などにつなぐことができます。
⑬	電源ボタン	本体の電源をオン / オフします。
⑭	ホームボタン	デスクトップ画面を表示します。
⑮	音量ボタン	音量を調整します。
⑯	Micro HDMI ポート	HDMI コネクタを持つ外部ディスプレイやテレビと接続します。
⑰	USB3.0(Type-C) ポート	USB3.0(Type-C) 規格に対応した USB ポートです。 *PD 対応。45W 以上の PD 対応充電器で充電可能です。
⑱	Micro SD カードスロット	Micro SD カード用のメモリカードリーダーポートです。
⑲	SIM カードスロット	nano SIM カードに対応したスロットです。 ※ご購入いただいたモデルによっては、通信モジュールをサポートしておりません。
⑳	USB3.0 ポート	USB3.0 規格に対応した USB ポートです。
㉑	ヘッドセット端子	ヘッドホンまたは、ヘッドセットを接続できる、4 極ポートです。マイクは 3.5mm 4 ピンヘッドセットのみサポートされています。
㉒	DC 入力	付属の AC アダプターを接続します。

3. 充電仕様

本機は付属のバッテリー、および AC アダプターにより動作します。

なお、本機を初めて使用する場合は、付属の AC アダプターを使用して操作をすることを推奨します。



注意

AC アダプターは本製品に付属のものを使用してください。付属の AC アダプター以外を使用した場合、本機やバッテリーの故障や破損の原因となります。

本機に AC アダプターを接続するには次の手順で行います。

1. 本機の右側面にあるカバーを開ける



2. AC アダプターのコネクタを、本機の DC 入力に差し込む

3. AC アダプターをコンセントに差し込む

接続した AC アダプターをコンセントに差し込むと、バッテリーの充電を開始します。



メモ

バッテリー残量が 95%以上あるときは、バッテリーの充電が始まらない場合があります。これはバッテリーの劣化を抑制するための仕様です。

付属のバッテリーでの駆動時間、およびフル充電までの時間については、以下の表をご覧ください。

バッテリー駆動時間※ 1	フル充電までの時間※ 2
約 12 時間	約 4 時間

※ 1 JEITA バッテリー動作時間測定法 (Ver.2.0) による測定時間。バッテリー駆動時間は、動作環境、液晶の輝度、システム設定により変動します。バッテリー駆動時間測定環境については、次の Web ページをご覧ください。

<https://pc.logitech.co.jp/qa/qa011.html>

※ 2 バッテリー充電時間は、動作環境、システム設定により変動します。また、完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。



メモ

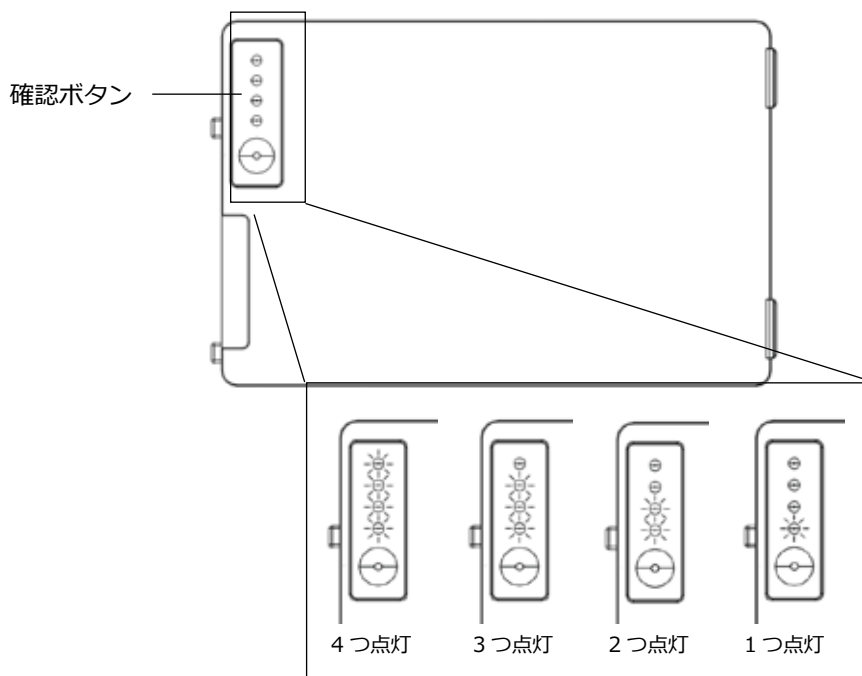
低温環境使用時には、リチウムイオンバッテリーの特性上、バッテリーの容量が低下します。その場合、バッテリー稼働時間が短くなる可能性がありますのでご了承ください。

* 仕様温度を超える低温、高温時にはバッテリー保護の為充電機能を制限することがあります。

バッテリー残量ランプ

本機に搭載のバッテリーは、ボタンを押して点灯する LED の数によってバッテリー残量の目安を知ることができます。

バッテリー残量 (%)	LED 点灯数
100 ~ 75	4
75 ~ 50	3
50 ~ 25	2
25 ~ 5	1
5 以下	1(早い点滅)



充電制限機能について

AC アダプター接続時、動作環境温度 (0℃ ~ 40℃) を超える環境で本機を使用する場合、内蔵バッテリー保護のため、バッテリーへの充電を制限する「充電制限機能」が働くことがあります。充電制限中は、バッテリーランプが点滅 (緑色) し、バッテリーが充電されません。この状態で長時間使用を続けると、バッテリーが放電を続け、バッテリー切れの状態になりますのでご注意ください。

4. 電源の ON / OFF、再起動



本機は専用の AC アダプターと接続し、バッテリーを充電することで動作します。本機の電源の ON / OFF、再起動は次の手順で行います。

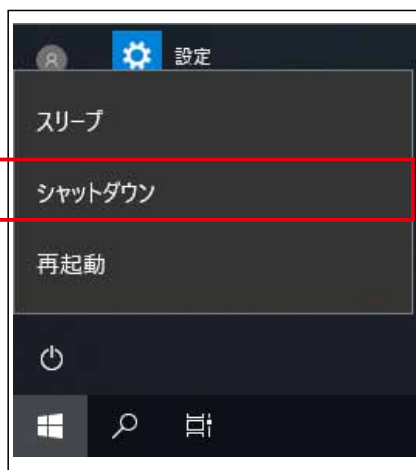


電源を入れる【電源 ON】



1. 本体右側面の電源ボタンを押す
起動画面が表示されたあと、ホーム画面が表示されます。
パスワードを設定していたり、複数のユーザーで使用している場合は、ロック画面が表示されますので、サインインしてください。サインイン後、ホーム画面が表示されます。

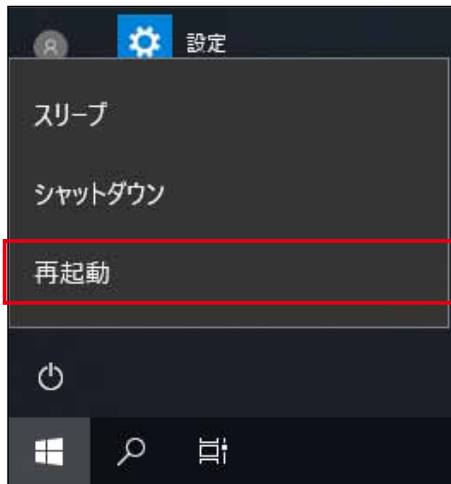
電源を切る【シャットダウン】

1. 「 (スタート)」をタップする
2. 「 (電源)」 - 「シャットダウン」をタップする
シャットダウンが実行され、画面が消灯します。



再起動する

1. 「 (スタート)」をタップする
2. 「 (電源)」 - 「再起動」をタップする



再起動が実行されます。画面が暗くなった後ですぐに起動画面が表示されます。

電源ボタン操作によるタブレットの動作

本体の電源ボタンは約 1 秒長押しすると動作します。
以下に電源ボタン操作によるタブレットの動作を記載します。



注意

出荷時の OS 状態での動作です。OS の設定により動作が異なる場合があります。

本体の電源の状態	電源ボタン操作	
起動状態	1 秒程度の長押しで スリープに移行	5 秒以上の長押しで 強制シャットダウン
シャットダウン状態	1 秒程度の長押しで起動	
スリープ状態 または ディスプレイの電源を切る	1 秒程度の長押しで スリープ状態から復帰	5 秒以上の長押しで 強制シャットダウン

5. BIOS 設定画面について

BIOS とは、OS が起動する前の段階で接続された機器やストレージ、CPU やメモリ等の管理や制御を行います。本製品の一部の機能や操作は OS 上では設定できず、BIOS 設定画面での設定が必要となります。

ここでは、BIOS 設定を行う BIOS 設定画面の操作について説明します。BIOS 画面は基本的にキーボードで操作しますので、予めキーボードを接続しておくことをお勧めします。(テンキー付きのキーボードを推奨します)

BIOS 設定画面の表示

BIOS 設定画面を表示するには本製品の電源投入直後、または再起動後の操作が必要となります。

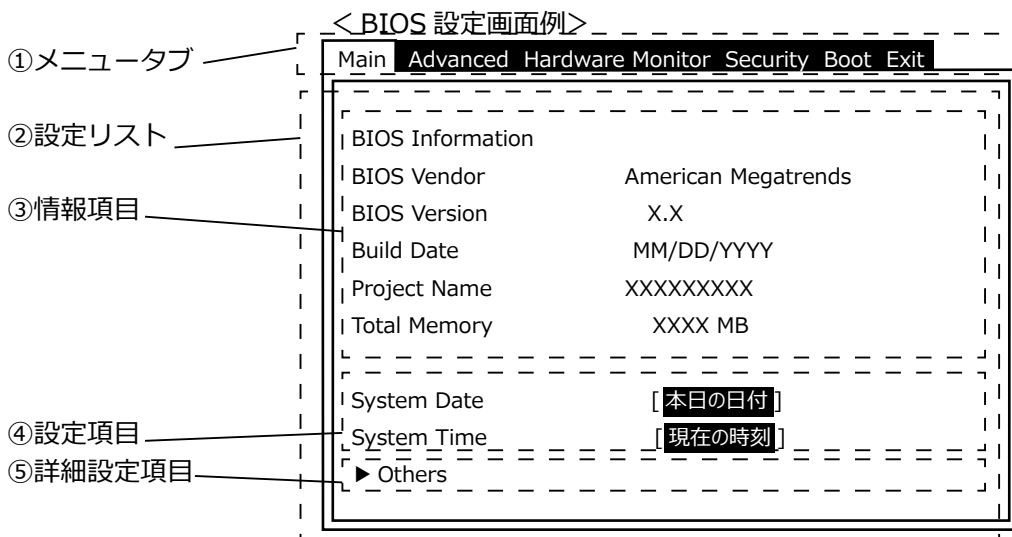
- ①電源投入直後または再起動直後
[Delete] キーを数回押します。

- ②「Aptio Setup Utility」と表示された画面が表示されれば成功です。但し、キーを押すタイミングによっては BIOS 設定画面が表示されない場合もあります。OS が起動してしまった場合は再起動し、再度①から始めます。



BIOS 設定画面の操作方法

ここでは BIOS 設定画面の操作方法について説明します。



<各項目の説明>

①メニュータブ

そのメニューのトップページ(タブが全て表示されている状態)で [←] キー / [→] キーで左右のメニューに遷移する事ができます。

②項目リスト

選択されたタブの情報項目、設定項目が表示されています。[↑] キー / [↓] キーで項目を移動できます。

③情報項目

黒字で表示されている情報は現在の設定値で、変更はできません。

④設定項目

白字 / 青字で表示されている情報は設定変更が可能な項目です。白字のときはその項目が選択されており、テンキーの [+] キー / [-] キー (テンキーの無いキーボードの場合は [Shift]+[^] キー / [-] キーでも操作可能) で値の変更が可能です。

項目によっては [Enter] キーを押すと選択肢が表示されます (選択肢が単一の場合もあります)。[↑] キー / [↓] キーで値を選択し、[Esc] キーを押して値を確定させます。

⑤詳細設定項目

白地 / 青字で冒頭に ▶ が付いている項目は詳細設定項目で、[Enter] キーを押すと詳細設定画面に移行します。詳細設定画面で [Esc] キーを押すと詳細設定項目が表示されている画面に戻ります。

<注意>

BIOS 設定画面を表示しても、キー入力を受け付けない場合があります。

これは USB キーボードのキー入力回数が多過ぎたためです。しばらく待つか、USB キーボードを挿し直してください。

BIOS 設定の保存・終了

BIOS の設定を変更した場合、設定を保存して再起動するまで設定内容が反映されません。ここでは BIOS 設定の保存方法について説明します。

1. BIOS 設定画面の「Save&Exit」メニューに移動します。
2. 項目リストから「Save Changes and Reset」を選択して [Enter] キーを押します。
3. 確認画面が表示されるので、「Yes」を選択 (黒地に白文字にします) して [Enter] キーを押します。

以上で BIOS 設定内容が保存され、システムが自動的に再起動します。

6. 出荷時の状態に戻す（リカバリー）

ここでは本製品を工場出荷時状態に戻す方法を説明します。工場出荷時状態に戻す事が必要な場合は本項に沿って実施してください。本製品を工場出荷時状態にするには、BIOS 設定とシステムリカバリーの2つの操作が必要になります。

<ご注意>

- システムリカバリーは、HDD や SSD 等の内蔵ストレージにインストールされている OS およびその他のデータを削除します。必要なデータはあらかじめバックアップしますようにお願いします。
※パーティション分割していても、内蔵ストレージ全体を消去しますので、ディスク全体のデータのバックアップが必要です。
- 製品に添付のリカバリーディスクは添付されていた機体に対してのみ、リカバリーを実施できます。
- システムリカバリー完了後、必要に応じ Windows Update 等でセキュリティ対策を実施してください。
- カスタム仕様で注文いただいた機種に関しては、搭載されていないハードウェア部品（拡張ボードなど）の記述が含まれている場合があります。また、一部のハードウェア部品には別途ドライバーソフトのインストール、またはアプリケーションソフトのインストールが必要な場合があります。リカバリー後に、付属の製品仕様書やその他の取扱説明書をご確認ください。

■システムリカバリーに必要な機材

- 本製品
- リカバリーディスク（本製品付属の物）
- USB キーボード（テンキー付きを推奨）
- USB マウス
- リカバリーディスクの規格に対応した外部供給電源付き USB 光ディスクドライブ（光ディスクドライブを搭載していない機種のみ）
- USB ハブ（上記機器を同時接続する USB ポートが搭載されていない機種のみ）

※上記以外で工場出荷時に接続されていない機器は内蔵機器を含め、全て取り外してください。

※バッテリー駆動が可能なモデルは AC アダプターを接続した状態で実行してください。

BIOS 設定の工場出荷時設定化

購入してから本製品の BIOS 設定を変更したことが無いことが明らかな場合は本項の操作は不要です。次項「リカバリーディスクによるシステムリカバリー」にお進みください。

BIOS 設定には BIOS 設定画面を使用します。操作方法は「5.BIOS 設定画面」を参照ください。

1. 作業に必要な機材のうち、USB キーボードを接続します。
2. BIOS 設定画面を表示させます。
3. BIOS 設定画面の「Save & Exit」メニューの「Restore Defaults」を選択し、[Enter] キーを押します。
4. 確認画面が表示されるので、「Yes」を選択（白文字に黒背景にします）して [Enter] キーを押します。
5. BIOS 設定画面で下記追加設定項目を設定値の値に変更します。
6. BIOS 設定の保存をして終了します

リカバリーディスクによるシステムリカバリー

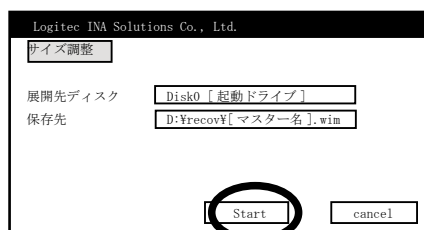
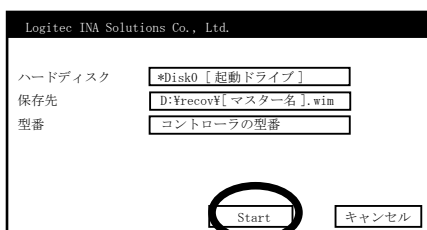
ここでは、ストレージ上の OS を出荷時状態に戻す方法を説明します。

1. システムリカバリーに必要な機材を全て取付けます。
※システムリカバリーに必要な機材以外で工場出荷時に接続されていない機器は内蔵機器を含め、全て取り外してください。
2. 本製品の電源を ON にし、光ディスクドライブにリカバリーディスクをセットします。
※リカバリーディスクが 2 枚組以上の場合は Disc1/ O と記載されたディスクからセットします。
3. OS が起動してる場合は一旦シャットダウンし、再度電源を ON にし、直後に USB キーボードの [F7] キーを起動デバイスの選択画面が表示されるまで数回押します。



※本体内蔵の OS が起動してしまった場合は、OS 上より再起動を実行して再度本項目より実行します。

4. 起動デバイスの選択画面で USB キーボードの [↑] キー / [↓] キーで光ディスクドライブを選択し、[Enter] キーを押します。
※光ディスクドライブが 2 つ表示される場合は、行頭に「UEFI:・・・」と表示されている方を選択します。
5. リカバリーディスクによる「Press any key to boot from CD or DVD」のメッセージが画面左上に表示されたら、すぐにキーボードの任意のキーを押します。
※本体内蔵の OS が起動した場合は、再度 手順 4 から実行します。
6. システム起動後、システムリカバリー画面が表示されるので、マウス操作で [START] ボタンをクリックし、リカバリーを開始します。(リカバリーディスクのバージョンにより画面デザインが異なります。)



7. OS のアクティベーションを実施します※。Windows が起動している状態で、インターネットに接続します。LAN ケーブルの接続が必要であれば接続します。

※モデルによっては弊社出荷時時点ではアクティベーションは実施されておられません。Windows Update のセキュリティ更新等を有効にするためにアクティベーションの実施をお勧めします。

8. インターネットに接続することで、OS のライセンス認証が完了します。認証状況は 設定>更新とセキュリティ>ライセンス認証 の ライセンス認証 欄で確認いただけます。



ポイント

- インターネットに接続する事で WindowsUpdate が自動的に動作する場合があります。
- リカバリー途中で停止したり、NG 表示された場合、本製品に何かしらの障害が発生していることが考えられます。出荷時状態以降に取り付けた増設機器があればそれらを取り除き、再度リカバリーをお試してください。
- リカバリー直後の Windows は、機能の一部が制限されている場合があります。機能を有効にするために、2 回ほど再起動してください。
- Windows の起動時、シャットダウン時の背景色について、初回～ 2 回目の起動時及びシャットダウン時において、背景色が変わる場合があります。この挙動は Windows 10 の仕様上の制約であり、設定が変更されたわけではありません。複数回再起動を実施することで、色が変化し、背景色が元に戻ります。
- インターネットに接続できない場合、あるいはライセンス認証が正常に行えない場合は、「ファイル名を指定して実行」から「slui.exe 4」を実行します。その後、Windows の画面の指示に従ってライセンス認証します。
- その他のアプリケーションでも、ライセンス認証が必要な場合があります。各アプリケーションのマニュアルでご確認ください。

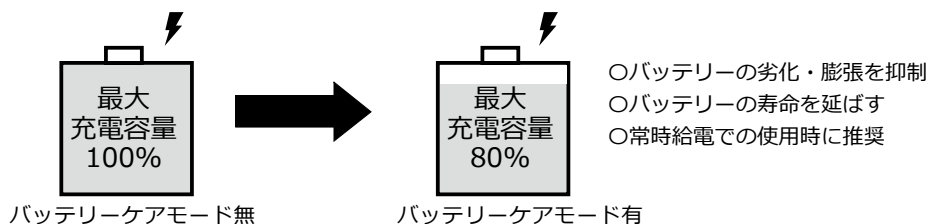
7. バッテリー保護機能 (バッテリーケアモード)

ここでは、バッテリーケアモードの設定方法について説明します。バッテリーケアモードの設定は BIOS 設定画面での設定が必要になります。

■ バッテリーケアモードについて

バッテリーケアモードとは、タブレット起動中の最大充電容量を通常より低く設定する充電モードです。

この充電モードに設定することにより、通常モードより充電中のバッテリーの劣化を抑え、バッテリーの寿命を延ばすことができます。



バッテリー搭載のタブレット製品を AC アダプターから常時給電状態で連続使用しますと、バッテリーの劣化が早くなる場合があります。その場合、本案内のバッテリーケアモードを有効の状態で使用することをお勧めします。

※出荷状態では、バッテリーケアモードが無効になっています。

< BIOS 設定画面の設定項目と設定値 >

#	メニュー	詳細項目	設定項目	設定値	機能
1	Boot	—	Battery care mode	Enabled	本機能を有効化
				Disabled	本機能を無効化



補足事項

バッテリーケアモードは製品本体に接続されたバッテリーを充電する際の機能となります。

オプションのバッテリーチャージャー (PZ-LZWBBTCH01) でバッテリーを充電する場合は、バッテリーケアモードでの充電は行われません。

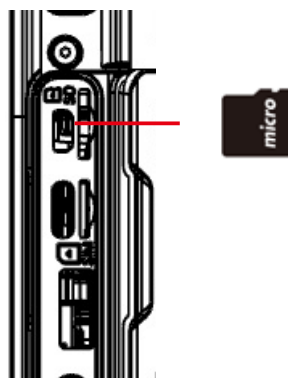
8. その他の機能・設定

Micro SD カードの取り付け

Micro SD カードを本機のスロットに挿入します。

Micro SD カードは標準サイズ（15mm × 11mm）をご使用ください。

1. 本機の右側面のカバーをあける
2. 下図の向きに Micro SD カードの向きを合わせる
3. Micro SD カードを本体のスロットに挿入する

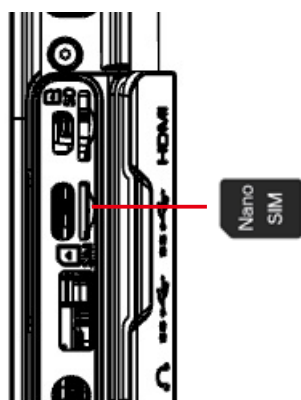


Nano SIM カードの取り付け

Nano SIM カードを本機のスロットに挿入します。

Nano SIM カードは標準サイズ（12.3mm × 8.8mm）をご使用ください。

1. 本機の右側面のカバーをあける
2. 下図の向きに Nano SIM カードの向きを合わせる
3. Nano SIM カードを本体のスロットに挿入する



9. トラブルシューティング

問題	対応
バッテリーが充電されない	<ul style="list-style-type: none"> AC アダプターが正しく接続されていることを確認してください。 充電ランプが点滅している場合は、充電制限中になっています。本機を常温環境に置き、本機の電源を切る（シャットダウンする）か、高負荷な状態になる作業を停止してください。
画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 本機がスリープ状態になっている可能性があります。電源ボタンを押し画面が表示されるか確認してください。 画面の輝度が低くなっている可能性があります。輝度をあげてみてください。
画面が突然消え、電源ランプも消灯した	<ul style="list-style-type: none"> 本機をバッテリーで使用している場合、バッテリーが切れた可能性があります。バッテリーを充電してください。
ワイヤレス LAN の電波が弱い	<ul style="list-style-type: none"> 電波の範囲外の可能性があります。本機をルーターなど接続する機器の近くに移動させて確認してください。 本機の近くや、接続したい機器の近くに、電子レンジやコードレスフォンなど、ワイヤレス LAN の電波と干渉する機器が無いか確認してください。それらの機器があった場合は、本機やワイヤレス LAN 機器から、それらの機器を離してください。
他のワイヤレス LAN 機器に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機のワイヤレス LAN 機能がオンになっているか確認してください。 ネットワーク内のすべてのワイヤレス LAN 機器で、SSID の設定が同じであることを確認してください。 本機を再起動してみてください。 IP アドレスやサブネットマスクなどネットワークの設定が正しく設定されているか確認してください。
Bluetooth で他の機器に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機と接続先の機器の両方の Bluetooth 機能がオンになっていることを確認してください。 本機と接続先の機器の両方の電源が入っていて、かつ、検出可能になっていることを確認してください。 接続先の機器と本機の距離が 10m 以内であることを確認してください。また、間に壁や大きな障害物が無いことを確認してください。 本機と接続先の機器に互換性があることを確認してください。
GPS を使用するアプリケーションで位置情報が取得できない	<ul style="list-style-type: none"> GPS のカバーエリア外の可能性があります。屋外や、窓の近くに移動してみてください。 本機の近くや、接続したい機器の近くに、電子レンジやコードレスフォンなど、GPS の電波と干渉する機器が無いか確認してください。それらの機器があった場合は、本機をそれらの機器から離してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音量ボタンで、本機の音量を調整してみてください。 外部のオーディオ機器を使用している場合は、正しく配線されているか確認してください。

